

IV

授業・試験

- 大学からの連絡
- 単位と授業時間
- 休講および補講
- 振替授業日および休日授業日
- 出席の確認
- 欠 席 届
- 教室の表示等
- テキスト(教科書)の購入
- 試 験
- 成績・進級
- 在学の年限
- 卒 業
- 交通機関の乱れや台風・積雪等による授業の休講等
- 前期・後期 試験時間割

大学からの連絡

大学からの連絡事項は、「FU ポータル」「大学が付与するメールアドレス」「掲示板」を通じてお知らせします。

これらの告示、通知、呼び出し等を見なかったために生じる不利益は、学生本人の責任となります。
常に最新の情報を確認する習慣を身につけ、責任を持って行動してください。

(1) FU ポータル

FU ポータルとは、Web 上で提供される福岡大学の様々なサービスの入口となるページです。学生一人ひとりが持つ自分専用のポータルページで、必要な情報やシステムにアクセスすることができます。

◆FU ポータル画面



(例)
 学生の皆さん
 成績発表に関するスケジュールを
 公開します。
 不明な点は窓口にお尋ねください。



○ FU ポータル

◆FU ポータルで確認できること

内 容	参照メニュー
最新のお知らせを見たい	お知らせ
シラバスを閲覧したい	授業関連 ▶ WEB シラバス
履修登録をしたい	授業関連 ▶ Web 履修登録 ▶ 履修申請
教室を確認したい	授業関連 ▶ Web 履修登録 ▶ 時間割表(教室割)照会
休講・補講情報を見たい	授業関連 ▶ 休講・補講
成績を見たい	授業関連 ▶ 教務 ▶ 成績発表
履修科目の担当教員からの連絡を見たい	授業関連 ▶ 授業支援 ▶ 授業管理 (学生)
FU_box を使いたい	共 通 ▶ 福岡大学公認クラウドストレージサービス
メールを確認したい	共 通 ▶ Web メール

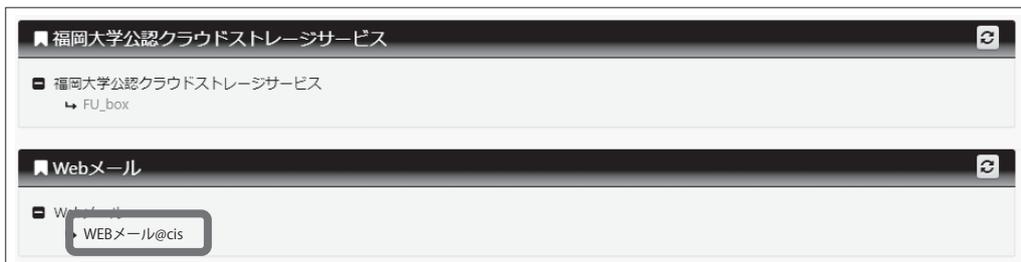
※主な機能を示しています。これら以外にも各種機能があります。

(2) 大学が付与するメールアドレス (@cis メール)

入学の際、学生の皆さんへ次のようなメールアドレスを付与します。大学からの様々な連絡が届きますので、毎日確認してください。

学籍番号@cis.fukuoka-u.ac.jp (例: ee123456@cis.fukuoka-u.ac.jp)

◆FU ポータル画面



Microsoft Outlook のアプリをスマートフォンにインストールし、大学のメールアドレスを設定すると、都度ログインせずに確認することができます。



○教育用メール (@cis)

(3) 掲示板

大学から学生へお知らせするにあたり、紙による掲示を併用する場合があります。掲示板は、全学部共通の中央掲示板 (A棟前) のほか、理系の各学部を設置しています。

FU ポータルとメールは必ず 1 日 1 回確認すること!

●無線 LAN (Wi-Fi) の利用



学内各所に無線 LAN (Wi-Fi) を設置しています。
ノート PC・タブレット端末・スマートフォンなどを接続して
検索や学習に活用しましょう。



○Wi-Fi 接続について

●授業、試験、成績等の問い合わせ先

対象窓口	メールアドレス	対象窓口	メールアドレス
教務二課(人文学部)	jibun@adm.fukuoka-u.ac.jp	医学部事務課(医学)	ijimu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課(法学部)	hogaku@adm.fukuoka-u.ac.jp	医学部事務課(看護学)	nurse@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課(経済学部)	keizai@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務三課(薬学部)	yaku@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課(商学部)	sho@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務三課(スポーツ科学部)	sport@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課(商学部第二部)	sho2@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課(教務担当)	kyomu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務三課(理学部)	rigaku@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課(共通教育担当)	kyotu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務三課(工学部)	kogaku@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課(教職担当)	kyosyoku@adm.fukuoka-u.ac.jp

単位と授業時間

1 単位制

〔単位制〕

単位制とは、授業科目にそれぞれ定められた単位があり、その授業科目を履修して、合格の評価を得ることによって、卒業に必要な単位数を修得する制度です。

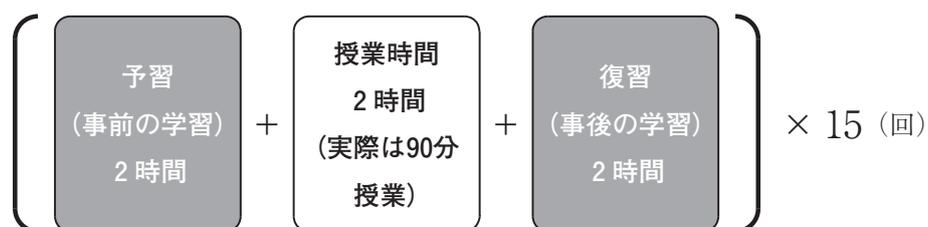
〔単位について〕

単位とは、授業科目を修得するために必要な学修の量を数値で表すものであり、1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成されています。この45時間には、教室で行う授業時間だけでなく、予習復習等の自主学習も含まれます。

〈例〉

半期2単位の講義科目の場合

(1単位45時間のため、単位修得には90時間が必要)



※実際の授業時間は90分間です。単位計算上は1つの授業90分を2時間として計算します。

※半期2単位の講義科目の場合、本学では毎週1回の90分授業を15回実施し、それに自主学習として行う各2時間相当の予習・復習の時間を加えて単位を認めています。授業を受講するだけでなく、自主学習として、予習・復習等を行うことが重要となるため、必ず各授業科目のシラバスを確認してください。

2 授業形態

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行われます。

また、各学部が教育上有益と認めるときは、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修することのできる授業が実施される場合があります。(学則第32条の2および第32条の2第2項参照)

3 授業時間

●全学部（商学部第二部を除く）

1 時 限	9 : 00	～	10 : 30
2 時 限	10 : 40	～	12 : 10
3 時 限	13 : 00	～	14 : 30
4 時 限	14 : 40	～	16 : 10
5 時 限	16 : 20	～	17 : 50
6 時 限	18 : 00	～	19 : 30

●商学部第二部

1 時 限	18 : 00	～	19 : 30
2 時 限	19 : 40	～	21 : 10

休講および補講

授業が休講となる場合、FU ポータルでお知らせします。なお、休講の掲示が出ていないにもかかわらず授業が始まらない場合は、所属学部の事務部署の窓口まで申し出てください。

また、休講に伴い補講を実施する場合は、原則として、補講日の一週間前にFU ポータルで日時・教室等をお知らせします。詳細は「履修登録の手引」を参照してください。

※補講は、指定する土曜日、試験前の指定する日および指定する週の6時限目に実施します。

補講日については、「Ⅱ 学年ごよみ・事務窓口」の2026年度学年ごよみを参照してください。

※交通機関の大きな乱れや台風・積雪等による授業の休講や授業時間の変更等がある場合は、福岡大学公式 Web サイト、FU ポータルでお知らせします。

振替授業日および休日授業日

各曜日の授業回数を確保するため、振替授業日および休日授業日を設定しています。

[2026年度振替授業日] 振替前と同じ時限・教室で実施

前期	なし
後期	月曜日の振替授業日 12月24日(木) 月曜日の振替授業日 1月7日(木)

[2026年度休日授業日] 通常（暦上）の曜日の授業を実施

前期	4月29日(水)「昭和の日」 7月20日(月)「海の日」
後期	11月23日(月)「勤労感謝の日」

※医学部医学科（第2学年以上）については、学年暦が異なる場合がある。

出席の確認

学生証を使い、センサーを設置した教室等で授業の出席状況を記録します。

この出席管理システムは、学生の皆さんが自ら生活管理を行い、着実に修学を進めていくためのものです。必ずしも成績評価に利用することを目的としたものではありませんが、担当教員によってはこの情報を成績評価に利用することもあります。また、皆さんの修学や生活指導のデータとしても活用します。本学開催の父母懇談会などでの相談の際にも、皆さんの大学での生活状況の一端としてご父母にお知らせします。

なお、授業の出席率は、修学支援新制度の適格認定（学業）時に利用されます。

出席確認は教室入室時に、教室内のセンサーに学生証をかざしてください。

【注意点】

- ・ 授業開始時刻の10分前～授業開始時刻まで ⇨ 「出席」と記録されます。
（1時限目および3時限目は授業開始の20分前～授業開始時刻まで）
- ・ 授業開始時刻以降 ⇨ 5分刻みで、開始時刻からの経過時間が記録されます。

欠席届

欠席に関する取扱いについては、担当教員の判断となります。授業を欠席する（した）場合は、各自で担当教員に速やかに報告して指示に従ってください。

なお、本学に公欠の制度はなく、欠席できる日数について特段の定めはありませんが、1週間以上欠席する場合は、福岡大学学生規程に基づき、次のような手続きをしてください。

- ① FUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「欠席届ダウンロード」から出力した「欠席届」に必要事項を記入のうえ捺印します。
- ② 記入・捺印した「欠席届」および欠席を証明する書類を添え、各自で各担当教員に報告した後、所属学部の事務部署に提出します。

証明する書類の例……診断書、医証（病気・怪我の場合）等

※詳細は、FUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「授業等の欠席の取扱いについて」を確認してください。

▶医学部の学生については、前記諸届・諸願に関する相談・取次ぎを医学部事務課で行います。

教室の表示等

- 教室は、A棟・2号館から19号館までと、文系センター低層棟、医学部看護学科棟、人文学部教育・臨床心理学棟にあります。

〔A棟・2～19号館の教室表示〕

例	A 7 13 (教室番号)	8 2 3 (教室番号)	2 3 A (教室番号)
	⋮	⋮	⋮
	A 7 番	8 2 番	2 3 記
	棟 階 号	号 階 号	号 階 号
		館	館

- 例外的な教室表示

A棟地下1階……〔A B01、A B02〕 2号館地下1階…〔2 B 1〕

※授業の教室割は、開講日までにFUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「Web履修登録」の「時間割表(教室割)照会」でお知らせします。

※理系学部の教室変更・未定分については学部の掲示板上に掲示します。

テキスト(教科書)の購入

授業で使用するテキスト(教科書)は、学修ガイド、シラバス(医学部医学科の専門科目は「学修要項」)等を参照し、履修する科目のテキスト名を確認した上で、購入してください。

なお、科目によってはテキスト不要の場合や、後期完結科目で後期開講前に販売される場合もあります。

※購入したテキスト(教科書)は、購入時に破損、欠損しているもの以外、返品はできません。

※4月13日の前期授業開始日前後は大変混み合いますので、インターネット注文を利用されるか、早めに購入するようにしてください。

1 販売日時及び販売場所

販売期間：2026年4月2日(木)～4月17日(金) 休業日【土曜日(4月11日は営業)、日曜日】

販売時間：9:00～18:00(4月2日・3日・11日・17日)

9:00～19:00(4月6日～10日・13日～16日)

販売場所：福岡大学 有朋会館^{ゆうほう}2階ラウンジ

※4月20日(月)以降は、ヘリオス文庫で販売します。(休日授業日以外の土曜日・日曜日・祝日を除く。)

※後期の共通教育科目(英語)で使用するテキストは、9月開講時に販売します。

※医学部の専門教育科目については、神陵文庫(医学部研究棟別館地階)にて販売します。期間と時間については書店に確認してください。

2 インターネット注文について

インターネット経由で注文すると、宅配サービスの利用が可能です。

【福岡大学教科書販売サイト <https://fukudai-text.net>】

【インターネット注文における注意点】

- ・『宅配サービス』の受付期間は、4月2日(木)から4月10日(金)までとなっています。なお、宅配サービスは前期のみのサービスです。
- ・宅配サービスの送料及び代引き手数料は別途必要となりますので、詳細については上記の福岡大学教科書販売サイトで確認してください。
- ・申込みから配達まで約3～4日かかります。特に開講日前日は申込みが集中し、配達日が遅くなることもありますので、開講日までに揃うように早めに申し込んでください。

試 験

履修登録した授業科目については、試験に合格（60点以上）しなければ「単位」として認定されません。試験は定期試験・追試験（定期試験を受けられなかった場合の試験）・再試験（定期試験が不合格となった場合の試験）の三種類があります。

※定期試験を実施しない授業科目があります。シラバスを必ず確認し、評価方法をよく理解したうえで履修登録を行ってください。なお、上記の授業科目について、履修の手引（p. 80～82、p. 144～147）を参照してください。

1 定期試験

本学では、学期を前期（4月1日～9月13日）と後期（9月14日～3月31日）に分けており、前期・後期それぞれ試験を実施します。

通年の授業科目は、前期・後期共に受験する必要があるため、一方だけ受験しても「単位」は与えられません。また、前期または後期完結の授業科目は、授業が開講された学期だけ受験すればよいことになります。

なお、授業科目の試験時間が重複していると受験できません。履修登録の際は、試験時間割表（p. 33～34）で試験が重複しないように注意して、授業時間割を作成してください。詳しくは、履修の手引「試験の重複」（p. 42）を参照してください。

- 前期試験（7月24日～8月2日〔予備日を含む〕）
- 後期試験（1月13日～1月26日〔予備日を含む〕）
- 交通機関の大きな乱れや台風・積雪等による試験の取扱い

試験日あるいは試験時間の変更等がある場合は、福岡大学公式 Web サイト、FU ポータル等でお知らせします。

2 定期試験についての心得

- ・試験についての注意事項、教室割、試験時限などは、試験前に掲示や FU ポータルでお知らせしますので、事前に確認してください。
- ・試験では、各人の座席をすべて指定します。試験は必ず自分の学籍番号の座席で受験してください。座席表は、教室入口近くの掲示板に掲示します。座席がない場合は試験事務室（A棟地下1階）に行ってください。
- ・成績考査規程を十分心得ておいてください。
- ・学生証は常に携帯し、受験中は必ず写真面を上にして机の座席番号側の見やすいところに置いてください。学生証を所持していない場合は受験することができません。忘れた場合は直ちに証明書自動発行機より仮学生証を出力してください。
- ・試験開始後20分を経過した遅刻者は受験をすることができません。試験開始後20分経過時に合図のチャイムが鳴りますが、チャイムが鳴り始めると一切入室できません。
- ・試験開始後30分を経過しなければ退室を許可しません。
- ・試験中、学生相互の物品の貸借は禁止します。
- ・監督者の指示があるまで次の時限の受験者は教室に入ることはできません。
- ・不正行為者については成績考査規程第5条により、当該期間（前期又は後期）に完結する全授業科目及び通年で実施する全授業科目の評価を「放棄」とします。
- ・答案はいかなる理由でも持ち出してはなりません。答案を持ち出した者に対しては、成績考査規程第5条の2により、その受験科目の評価を「放棄」とします。
- ・その他、試験場では監督者の指示に従わなければなりません。

3 定期試験時間表

●全学部（商学部第二部を除く）

1 時 限	9 : 30	～	10 : 30
2 時 限	10 : 50	～	11 : 50
3 時 限	12 : 30	～	13 : 30
4 時 限	13 : 50	～	14 : 50
5 時 限	15 : 10	～	16 : 10
6 時 限	16 : 30	～	17 : 30

●商学部第二部

1 時 限	18 : 20	～	19 : 20
2 時 限	19 : 50	～	20 : 50

▶医学部医学科については、別に示されます。

4 追試験（定期試験を受けられなかった場合の試験）

追試験は、定期試験を、病気その他やむを得ない事情によって受験できなかった者に所定の手続と審議を経て許可される試験です。これには、

- ・受験料を必要とします。（1科目2,000円）
- ・願い出た者全員が許可されるとは限りません。
- ・欠試の理由によって、得点が制限されます。

以上の制約があり、皆さんにとって不利益ともなります。したがって、万難を排して定期試験を受けるようにしてください。

手続及び不明な点の問い合わせは学生課（医学部医学科専門教育科目は医学部事務課（医学）、看護学科専門基礎科目・専門教育科目は医学部事務課（看護学））で取り扱っています。手続の際は必ず欠試の理由を証明する書類（例：病気の場合は医師の診断書）、および印鑑を持参してください。

追試験の申込期間・実施日等の日程については、定期試験前にFUポータル等でお知らせしますので、見落とさないように注意してください。

また追試験については、成績考査規程第6・7・8・11条を参照してください。

- 前期追試験（8月26日～8月30日に実施予定〔予備日を含む〕）
- 後期追試験（2月24日～3月2日に実施予定）
- 定期試験を実施しない授業科目は、追試験を実施しません。

5 再試験（定期試験が不合格となった場合の試験）

定期試験で不合格となった者については、願い出により再試験を行うことがあります。しかし、次のような制限があります。

- ・人文・法・経済・商・商二・工・スポーツ科の各学部は4年次生以上に対して実施します。
 - ・理学部は2・4年次生に対して実施します。
 - ・医学部医学科は全学年の学生に対して実施します。
 - ・医学部看護学科は1年次生および2年次生については、試験の結果、不合格の成績評価を得た者で、再試験により進級の見込みのある者、3年次生については、前期に開講する専門基礎科目及び専門教育科目について不合格の成績評価を得た者で、再試験により3年次後期に開講する看護学実習科目の履修見込みのある者および4年次生に対して実施します。
 - ・薬学部は1年次生から5年次生に対して試験の結果、不合格の成績評価を得た者で、再試験により進級の見込みのある者および6年次生に対して実施します。ただし、3年次生に対しては共通教育科目の再試験は実施しません。
- なお、専門教育科目については、再試験の結果、上位年次に進級できない者は、その再試験を無効とします。
- ・受験資格や受験することができる単位数は成績考査規程第12条、第13条を参照してください。
 - ・前期に履修した授業科目が不合格となり、後期登録変更を行うことで同一科目を後期に再履修した場合の再試験の取り扱いは次のとおりです。
 - (1) 前期および後期の成績がともに欠点による不合格の場合、後期に履修した授業科目のみを再試験受験の対象科目とする。
 - (2) 前期の成績が欠点による不合格で、後期の成績が放棄による不合格の場合、後期に履修した授業科目のみが再試験の対象となるが、当該授業科目を放棄しているため再試験の受験資格を与えない。
 - ・合格した場合の評点は60点となります。
 - ・受験料（1単位1,000円）を必要とします。
 - ・医学部医学科の時間制の専門教育科目は1科目4,000円を必要とします。

2月中旬に上記の学生を対象に成績発表を行い、その結果願い出た者について再試験を実施します。必ず成績発表の日にFUポータルのカテゴリ「授業関連」にある教務（学生メニュー）の「成績発表」で自分の成績を確認してください。手続は成績考査規程第13条を参照してください。

- 再試験（2月24日～3月2日に実施予定）
 - 医学部看護学科の3年次の再試験は前期開講科目について実施するため、手続や期間が異なります。
 - 卒業要件と課程修了要件を満たすために必要な科目が重複した場合、その再試験科目を申請する際、再試験の科目として申請できない場合がありますので注意してください。
- ※詳細については、教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程を履修する場合は教職課程教育センター、日本語教員課程を履修する場合は教務二課（人文学部）に確認してください。
- 定期試験を実施しない授業科目は、再試験を実施しません。

成績・進級

前・後期それぞれの定期試験の成績発表日以降、FU ポータルのカテゴリ「授業関連」にある教務（学生メニュー）の「成績発表」より各自で「成績通知書」を確認することができます。

1 成績評価

- ・成績は100点法によって評価され、60点以上が合格となり所定の単位が与えられます。
 - ・成績通知書には科目ごとに点数が表示されます。
 - ・不合格者（59点以下）の場合は、点数の末尾に「F」が表示されます。
 - ・放棄の場合は、「H」が表示されます。
- ※放棄「H」とは、「試験の放棄又は成績評価不能」を示しています。（福岡大学成績考査規程第3条第2項第6号抜粋）
- ※「試験の放棄」とは、定期試験・追試験および再試験を受験しなかった場合であり、「成績評価不能」とは、試験によらず成績を評価する科目について、学生の課題等の提出状況、受講状況その他の成績評価の前提条件を満たしておらず、点数を付けることができないと担当教員が認めた場合となります。

素点範囲	成績評語
100～90	秀
89～80	優
79～70	良
69～60	可
59点以下	不可
試験の放棄又は成績評価不能	放棄

2 成績・進級

学年末には「成績通知書」を確認の上、次年度の履修登録を行うこととなります。誤った履修登録を行うと、修業年限（4年間。医学部医学科および薬学部は6年間。）内で卒業できない事態を招きかねません。自分の修得科目や単位数を十分に把握し、学則や学科履修規程を熟読して慎重に履修登録をするよう心がけてください。

また、修得単位数が少ない場合、理系学部では規定により登録できる科目が制限されたり、進級できずに「留年」となる場合があります。不断の努力を重ね、修業年限内での卒業をめざしてください。

3 GPA 制度

成績通知書に、成績評価指標としての GPA を付記します。

GPA (Grade Point Average) は、次に示した算出基準・計算式で計算される履修科目の評点に単位数を加味した加重平均値です。大学での学修が、単に卒業単位を取得するのみではなく、より真剣に学ぶことにより大学教育を実質化し、大学の教育の質を保証するためのシステムの一環でもあります。途中で受講をやめたり、試験を放棄したりすると GPA が低下します。したがって、学生の皆さんには履修責任が求められることになります。

●GPA の算出基準

履修した科目の成績評価は100点満点で行います。点数に応じて科目毎に GP 評点を算出します（下表参照）。

素点範囲	成績評語	GP 評点
100～90	秀	4.0
89～80	優	3.0
79～70	良	2.0
69～60	可	1.0
59点以下	不可	0.0
試験の放棄又は成績評価不能	放棄	0.0

●GPA の計算式と対象

$$\text{GPA} = \frac{\text{【秀の修得単位数} \times 4 \text{】} + \text{【優の修得単位数} \times 3 \text{】} + \dots + \text{【不可・放棄の単位数の和} \times 0 \text{】}}{\text{秀} + \text{優} + \text{良} + \text{可} + \text{不可} + \text{放棄の総履修単位数}}$$

- ・ GPA は「卒業要件に関わる履修科目」および「課程科目を含む全履修科目」について、それぞれ「当該セメスターに履修した科目」および「当該セメスターまでに履修した全科目」の括りで算出します。
- ・ 不合格となった科目を後に再履修して合格となった場合、セメスター毎の GPA は元の成績で算出しますが、通算の GPA は合格した際の成績のみを対象として算出します。
- ・ 他大学等で履修した科目の単位で、本学の履修科目として修得が認められた単位（認定単位）及び合否のみにより成績評価を行う授業科目については GPA の対象とはなりません。

●GPA の利用

学部・学科により、特待生の選考やゼミの選考などに利用されます。なお、成績証明書には記載されません。

4 成績評価に関する問合せ制度について

成績評価は厳格かつ正確に行われるよう留意していますが、万一成績評価に疑問がある場合には、所属学部の事務部署に申し出れば、皆さんに代わって授業担当者へ問合せを行います。受付期間は、成績発表開始日から3日間としています。詳細については、FU ポータル等により皆さんにお知らせします。

なお、この制度は成績評価の厳格さと正確さを担保するためのものです。授業担当者との評点の交渉や、成績不振者に対する救済の機会を提供するものではありません。

在学の年限

学生は、8年を超えて在学することができません。

なお、医学部医学科および薬学部の学生については、12年を超えて在学することができず、同一学年・年次に在学できる年数は2年が限度です。

上記在学期間が満了した場合は除籍になりますので、十分留意の上勉学に励んでください。

卒業

1 卒業の認定

修業年限および「福岡大学学科履修規程」に定められた各学部の卒業に必要な科目・単位数を満たした者には3月に卒業の認定を行います。

2 前期卒業

修業年限を満たし、前期完結科目の合格によって前期で卒業要件科目および単位を修得した場合、本人の希望により前期終了日付で卒業の認定を受けることができます。

※前期卒業については、本人による事前の手続が必要です。2月に実施する4年次生以上の成績発表後に成績を確認した上で、必ず3月の履修登録前に所属学部の事務部署の窓口で相談してください。

交通機関の乱れや台風・積雪等による授業の休講等

交通機関の大きな乱れや台風・積雪等により、授業や試験の予定に変更が生じる場合は、福岡大学公式Webサイト、FUポータル等でお知らせします。



○福岡大学公式 Web サイト

令和8年度 人文学部 定期試験時間割

前	7/24 (金)		7/25 (土)		7/27 (月)		7/28 (火)		7/29 (水)		7/30 (木)		7/31 (金)		8/1 (土)		前
後	1/13 (水)		1/14 (木)		1/18 (月)		1/19 (火)		1/20 (水)		1/21 (木)		1/22 (金)		1/25 (月)		後
前期	共通 共通 共通 LC-LH-LA LA LA	数字入門 基礎数学 地球圏科学入門 新しい地球観 社会地理学(磯田) 韓国事情概説(緒方) 開発経済論B(アケミク)	共通 ① LE LA	芸術A 地理学A 人文地理学概論(近藤) 会社法I(前越) 国際経営論(柳田)	共通 共通 ① LH-LA LH-LA LP LG-LF	統計入門 物理学入門 物理の世界 ラテン語A(小笠原) 東洋史特講A(高橋) 東洋史特講C(高橋) 心理学的支援法(満身) ヨーロッパ表象文化特講A(永田)	① LC-LH-LP LH LP LG LG-LF LF LA	日本語I(衣畑) 概説政治学(東原) 日本商業史(本村) 福祉心理学(村上) ドイツ語I A フランス法(池端) フランス語I A 中国語I A	共通 共通 共通 共通 LJ LP	哲学A 論理学A 倫理学A 心理学A 比較文学特講Ⅲa(安河内) 労働と法制度(田中)	LC LH-LJ LP LE-LG-LF LE-LA LA	社会行動論(平田) 歴史学資料論A(榎橋) 発達心理学(松永) 会計学総論(長東) 物権法I(下田) 朝鮮語ⅡA	共通 共通 共通 共通 LC LC-LP LJ	自然界と物質の化学 生活と環境の化学 ミクロの生物科学 マクロの生物科学 心理学特講(古川) 感情・人格心理学(坂本) 心理言語学特講(今村)	① LC-LH-LJ LH LE-LG-LF	比較文学概論(榎橋) 経済史概論(瀬戸林) 貿易商務論A(田代)	前期
1 後期	共通 共通 共通 LP LA	数字入門 基礎数学 地球圏科学入門 新しい地球観 人体の構造と機能及び疾病(奥津) アジア経済論B(アケミク)	共通 ① LE	芸術B 地理学B マス・コミュニケーション論(開田) 会社法II(前越)	共通 共通 ① LH-LA LH-LA LP LG-LF	統計入門 物理学入門 物理の世界 ラテン語B(小笠原) 東洋史特講B(高橋) 東洋史特講D(高橋) キャリアカウンセリング(坂本) ヨーロッパ表象文化特講B(永田)	① LH LP LA	日本語II(松岡) 近代日本商業史(本村) 障害者・障害児心理学(声谷) 朝鮮語I B	共通 共通 共通 ① LH LP	LH-LJ LE-LG-LF LE-LA LA	歴史学資料論B(西谷) 財務会計論(渡辺) 物権法II(下田) 中国語II B	共通 共通 共通 共通 LH-LP	自然界と物質の化学 生活と環境の化学 ミクロの生物科学 マクロの生物科学 アドバンスト・イングリッシュII 概説哲学(大木)	LC-LH-LJ LH-LA LP LE-LG-LF LG-LF	日本美術論(関根) 国際関係史(湯浅) 公認心理師の職業(松永) 貿易商務論B(田代) 親族法(道山)	1 後期	
2 前期			共通	インターメディアイト・イングリッシュI (再履修クラスのみ)	LC-LH-LJ 教職 教職 教職 教職	博物館概論(福岡) 独語科教育法I(片岡) 仏語科教育法I(川島) 中国語科教育法II(謝) 朝鮮語科教育法I(伊)	共通	Practical English I (再履修クラスのみ) フレッシュマン・イングリッシュI (再履修クラスのみ)	LH-LP LJ LE-LG-LF LE-LA LA	考古学からみた文化と歴史C(高橋) 日本語表現法I(松岡) 経営入門(中川) 債権法I(生田) 中国学文献講義A(松葉)	共通	Core English I (再履修クラスのみ) フレッシュマン・イングリッシュIII (再履修クラスのみ)		共通	インターメディアイト・イングリッシュIII (再履修クラスのみ)	2 前期	
2 後期			共通	インターメディアイト・イングリッシュII (再履修クラスのみ)	LH-LJ-学芸 教職 教職 教職	博物館経営論(太田) 独語科教育法II(片岡) 中国語科教育法I(伊伏) 朝鮮語科教育法II(新里)	共通	Practical English II (再履修クラスのみ) フレッシュマン・イングリッシュII (再履修クラスのみ)	LH-LP LJ LE-LG-LF LE-LA LA	科学・技術と社会(開田) 考古学からみた文化と歴史D(高橋) 日本語表現法II(衣畑) 経営学総論(中川) 債権法II(生田) 中国学文献講義B(松葉)	共通	Core English II (再履修クラスのみ) フレッシュマン・イングリッシュIV (再履修クラスのみ)		共通	インターメディアイト・イングリッシュIV (再履修クラスのみ)	2 後期	
3 前期	共通 ① ① LP LA LA	法学A 中世ヨーロッパ哲学(小笠原) 西洋の文化と歴史C(丹後) 関係行政論(高橋) 韓国言語文化特講C(新里) 国際貿易論I(松永)	LC-LJ-LA LH LH LJ-LE LE-LG-LF LA	比較文化論(佐野) 日本史特講A(西谷) 日本史特講C(西谷) グローバル・コミュニケーション入門(松尾) 国際金融論I(伊豆) コミュニケーション中国語II A(チョウ)	LH-LP LJ LA LA LA LA	古代ギリシア哲学(大木) 概説社会学(森) 日本文学特講Ⅲa(大関) 韓国語基礎A(新里・伊) 中国学文献講義II A(謝) 韓国学文献講義II A(新里) 開発経済論A(木幡)	LH-LJ LJ LE LP LA	日本史概説A(西谷) 日本語特講Ⅵa(永井) 教育人間学(山岸) 英語音声学A(竹安) サービスマーケティング(六嶋)	共通 共通 LJ LP LP-社教 LA	自然科学入門 自然科学と人間 比較文学特講I a(林) カリキュラム実践論(宮崎) 生涯学習支援論A(宮田) 韓国事情特講C(安藤)	① LH LP LP	日本語概論I(江口) 宗教史A(桃崎) 健康・医療心理学(村上) コミュニケーション朝鮮語ⅢA(丁・柳)	LJ-LA LP LE-LG-LF LG-LF	韓国言語文化概説A(文学)(柳) 教育思想論(山岸) 簿記原理(山内) ドイツ文学史A(富重)	共通 共通 ①	政治学A 経済学A 地誌学概論(磯田)	3 前期
3 後期	共通 共通 ① LC-LH-LP LH-LA LE-LG-LF LA LA	法学B 福岡大学で考える現代社会(地球環境) 地球環境 西洋の文化と歴史D(丹後) 概説法律学(畑中) 東洋経済史(瀬戸林) 国際経済学(井手) 韓国言語文化特講D(柳) 国際貿易論II(松永)	LC-LJ-LA LH LH LJ-LE LE-LG-LF LA	民俗文化論(佐野) 日本史特講B(福嶋) 日本史特講D(福嶋) 英語教育学入門(長) 国際金融論II(伊豆) コミュニケーション中国語II B(チョウ)	① LC-LH LJ LP LA LA LA LA	国際化総論(萩原) 日本の思想(竹花) 日本文学特講Ⅳa(大関) 教育社会学(藤田) 韓国語基礎B(新里・伊) 中国学文献講義II B(謝) 韓国学文献講義II B(緒方) アジア経済論A(木幡)	LC LC-LH LH-LJ LH LJ LP LE	芸術学入門(落合) 宗教学特講(中村) 日本史概説B(西谷) 西洋経済史(西村) 日本文学特講Ⅶa(永井) 人間形成論(藤山) 英語音声学B(竹安)	共通 共通 LC-LH-LJ LJ LP-社教 LA	自然科学入門 自然科学と人間 博物館資料論(関根) 比較文学特講II a(林) 生涯学習支援論B(宮田) 韓国事情特講D(緒方)	① ① LH LH LA	近代ヨーロッパ哲学(藤泉) 日本語概論II(衣畑) 宗教史B(浅野) 日本経済史(小野) コミュニケーション朝鮮語ⅢB(丁・柳)	LE-LG-LF LG-LF LA	アメリカ文化・文学入門(坂井) 簿記原理(森脇) ドイツ文学史B(富重) 韓国言語文化概説B(言語)(大川)	共通 共通 ①	政治学B 経済学B 地誌学B(磯田)	3 後期
4 前期	LC LA	基礎心理学(柏原) 韓国地域研究概説A(安藤)	共通 共通 ① LC-LJ LH 学芸	高学A 社会学A 教育論A ヨーロッパ地域文化特講A(鈴木・平松) 社会心理学(磯田) 文化財学概論A(常松) 博物館展示論(関根)	① ① LP LA	文化人類学特講(宮岡) 日本文学概説I(永井) 教育学概論I(藤山) コミュニケーション朝鮮語II A(金・伊)	共通 共通 共通	日本文学A アジアの文学A 西洋文学A	① LP-教職 LP-教職 LA 教職	西洋美術史(落合) 人権教育(入江) 特別支援教育論(声谷・徳永) 比較文学特講II a(林) 東アジア各種言語講義B(グエン) 教育心理学(木村・紺田・松永・本山)	共通 共通 共通 共通 LC-LP LA	宗教学A 日本史A 東洋史A 西洋史A 概説日本史(久保) 中国地域研究概説A(大澤)	LC-LH-LP LP-社教 LE LA LA	自然地理学概論(近藤) 社会教育経営論A(大久保) イギリスの文化と文学II A(鶴田) 中国事情講義C(松葉) 発展途上国経済論(万)	① LH-LJ LJ LA	欧米各国史A(湯浅) 考古学概説A(桃崎) 日本文学特講I a(大坪) アクティブ中国語I A(伊伏)	4 前期
4 後期	LC-学芸 LA	博物館教育論(山下/三好/外平) 韓国地域研究概説B(新里)	共通 共通 ① ① ① LH LP	高学B 社会学B 教育論B 文化地理学(藤村) ヨーロッパ地域文化特講B(鈴木・平松) 文化財学概論B(常松) 精神疾患とその治療(畑中)	① ① LA	社会人類学(中村) 日本文学概説II(畑中/中野) コミュニケーション朝鮮語II B(金・伊)	共通 共通 共通 LC-LP	日本文学B アジアの文学B 西洋文学B 概説外国史(森/高橋)	① LP-教職 LA 教職	西洋美術論(森) 特別支援教育論(声谷・徳永・長谷川) 東アジア地域事情特講A(グエン) 教育心理学(紺田・本山)	共通 共通 共通 共通 教職 教職 教職 LA	宗教学B 日本史B 東洋史B 西洋史B 独語科教育法IV(片岡) 仏語科教育法IV(山本) 中国語科教育法IV(謝) 朝鮮語科教育法IV(緒方) 中国地域研究概説B(松葉)	LP-社教 LE LA LA	社会教育経営論B(大久保) イギリスの文化と文学II B(鶴田) 中国事情講義D(大澤)	① LH-LJ LJ LP LA	欧米各国史B(森) 考古学概説B(桃崎) 日本文学特講II a(大坪) 教育・学校心理学(村上) アクティブ中国語II B(伊伏)	4 後期
5 前期	① LC LJ LA	民法入門(生田) 理論社会学(本多) 日本文学史I(衣畑/須藤) 中国事情特講C(大澤)	① LC-LH-LA LP LA	イギリス文化・文学入門(渡部) 中国の思想(中村) 法と子どもの権利(池永) 中国語II A	① ① LC LA	ドイツ文学概論A(厚見) 憲法I(春名) 環境と文化(中村) ヨーロッパ言語文化特講A(森澤) アクティブ韓国語I A(李・伊)	LC-LH-LA LJ-LA LP-教職 LG-LF LA	神話文化論(岸根) 日本語特講Ⅲa(松岡) 総合的な学習の時間と特別活動の指導法(土本・和田) ヨーロッパ言語文化特講A(森澤) アクティブ韓国語I A(李・伊)	共通 共通 共通 共通	福岡大学で考える現代社会(国際化と日本) 国際化と日本 福岡大学で考える現代社会(現代を生きる) 現代を生きる 福岡大学で考える現代社会	LC LH-LJ-LP LA	リスク社会論(開田) 地域史概論(榎原) 韓国事情講義C(緒方)	LH-LJ-LA LJ-LA 教職	東洋史概説A(山根) 日本語学概論A(江口) 中国入門A(伊伏) 地理歴史科教育法(藤村)	LH LH LH-LG-LF LP-教職 LA	考古学特講A(古澤) 考古学特講C(古澤) 西洋商業史(藤田) 生後指導論(進路指導を含むG.) (田村・友清) 朝鮮語I A	5 前期
5 後期	① LC LJ LA	民法総則(生田) 文化心理学(古川) 日本文学史II(大坪/大関) 中国事情特講D(松葉)	① ① LC LA	西洋史概説B(森) イギリス文化・文学概論B(渡部) 応用社会学(平田) 朝鮮語II B	① ① LC LG-LF LA	ドイツ文学概論B(厚見) 憲法II(春名) 現代社会の心理と行動(磯田) ドイツ法(島村) 韓国学文献講義B(緒方)	LC-LA LP-教職 LG-LF LA	宗教文化論(岸根) 総合的な学習の時間と特別活動の指導法(入江・土本・和田) ヨーロッパ言語文化特講B(森澤) アクティブ韓国語I B(李・伊)	共通 共通 共通 共通		LP LA	心理的アセスメント(満身) 韓国事情講義D(安藤)	① LH-LJ-LA LJ-LA LA	アメリカ文化・文学概論B(坂井) 東洋史概説B(山根) 日本語特講Ⅶa(江口) 中国入門B(伊伏) 地理歴史科教育法(福嶋)	LH LH LH-LG-LF LJ-LE LP-教職 LG LF LA	考古学特講B(古澤) 考古学特講D(古澤) 近代西洋商業史(藤田) 英語学概論B(久保) 生後指導論(進路指導を含むG.) (田村・村久保) ドイツ語I B フランス語I B 中国語I B	5 後期
6 前期	LC-LP-教職 教職	生涯学習概論A(植上・添田・丹田) 教職概論(草野・古波蔵・高妻・佐藤・藤田)	① LJ LG-LF LA 教職	東洋の文化と歴史C(久芳) 日本文学特講Ⅴa(畑中) ヨーロッパ言語文化概論A(塚) 韓国語入門A(緒方・柳) 社会科教育法(地理歴史分野)I(田内)	共通 ① LH LH LA LA	日本国憲法 日本の文化と歴史C(久保) 西洋史特講A(森) 西洋史特講C(森) 中国語基礎A(謝) 中国言語文化特講C(伊伏)	① LP-教職 LG-LF	言語学概論A(古賀) 教育行政学(高妻) ヨーロッパ地域文化概論A(中西)	LP-教職 教職	教育方法とICTの活用(原北・和田) 道徳教育論(入江・古波蔵・土本・宮川)	LP-教職 LA	教育相談(坂本・友清・松永) 中国事情概説(大澤)	LP-教職 LA	教育福祉論(村上) 中国言語文化概説B(言語)(謝) 公民科教育法(和田) 独語科教育法Ⅲ(片岡) 中国語科教育法Ⅲ(松葉) 朝鮮語科教育法Ⅲ(安藤)	共通 共通 LG-LF LA 教職	西洋教育史 文化人類学A ドイツ語学概論A(森澤) コミュニケーション中国語ⅢA(チョウ) 教育制度論(小田・元兼)	6 前期
6 後期	LC-LP-教職	生涯学習概論B(植上・添田・丹田)	① LJ LG-LF LA	東洋の文化と歴史D(久芳) 日本文学特講Ⅵa(中野) ヨーロッパ言語文化概論B(塚) 韓国語入門B(緒方・柳)	共通 ① LH LH LP LA LA	日本国憲法 日本の文化と歴史D(榎原) 西洋史特講B(今井) 西洋史特講D(今井) 社会教育学(添田) 中国語基礎B(謝) 中国言語文化特講D(謝)	① LP-教職 LG-LF 教職	言語学概論B(古賀) 教育法規(原北) ヨーロッパ地域文化概論B(中西) 社会科教育法(公民分野)II(田内)	LP-教職 教職	教育方法とICTの活用(佐藤・原北) 道徳教育論(古波蔵)	LP-教職 LP-学芸	教育相談(木村・松永) 博物館情報・メディア論(高橋/福岡)	共通 ① ① LP-教職	教育の原理・課程論 現代哲学(関口) 中国言語文化概説A(文学)(武) 教育福祉論(長江)	共通 共通 LG-LF LA 教職	日本教育史 文化人類学B ドイツ語学概論B(森澤) コミュニケーション中国語ⅢB(チョウ) 教育制度論(小田・高妻・鄭)	6 後期
一部1 後期			共通	インターメディアイト・イングリッシュII (前期開講再履修クラスのみ)	共通	インターメディアイト・イングリッシュII (前期開講再履修クラスのみ)	共通	フレッシュマン・イングリッシュII (前期開講再履修クラスのみ)	共通	フレッシュマン・イングリッシュII (前期開講再履修クラスのみ)	共通	インターメディアイト・イングリッシュIV (前期開講再履修クラスのみ)	共通	フレッシュマン・イングリッシュIV (前期開講再履修クラスのみ)	共通	フレッシュマン・イングリッシュIV (前期開講再履修クラスのみ)	一部1 後期

一 注意事項
(人文学部 共通)

- 共通…共通教育科目
教職…教職課程科目
社教…社会教育主事課程科目
学芸…博物館学芸員課程科目
- ①は人文学部の8学科のうち、4学科以上に設けられている科目を示します。
- 通年科目は、前・後期とも定期試験を受験しなければ単位は認定されません。
- 「定期試験期間中に試験を実施しない科目」は、学修ガイド「履修の手引き」を参照してください。
- 後期開講「建築史概論」の定期試験時間割は、後期に通知します。FUポータルのお知らせを確認してください。他の科目と試験時間割が重複した場合は、直ちに教務二課(人文学部)窓口へ申し出てください。
- 集中講義科目の試験は、集中講義期間中に実施します。後、FUポータルのお知らせに掲載しますので確認してください。
- 前期開講のF・EⅡ・F・EⅣ・I・EⅡ・I・EⅣの再履修クラスは、一部1期に定期試験を実施しますので注意してください。
- 商学部第二部(夜間)で開講されている授業科目の定期試験は、必ず商学部第二部の時限で受験してください。
- 試験時間割を変更する場合は、FUポータルのお知らせにてご案内します。
- 授業及び試験時間割をよく確認し、重複のないよう注意して登録してください。
※重複する科目の登録は認めません。
- やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった場合、直ちに学生課へ申し出て「追試験」の手続きをしてください。
申込み期間を過ぎると追試験は受験できません。

(4年次生以上)

- 前・後期の定期試験または前期追試験を放棄した科目は、再試験の対象外です。
また、定期試験を実施しない科目は、再試験も実施しません。
※再試験とは、卒業に不足する単位が8単位以下の場合に、申し込みの上受験できる特別な試験です。
詳細は、学修ガイドの「成績考査規程」を参照してください。

試験時間表
●全学部(商学部第二部を除く)

1時限	9:30~10:30
2時限	10:50~11:50
3時限	12:30~13:30
4時限	13:50~14:50
5時限	15:10~16:10
6時限	16:30~17:30

●商学部第二部

1時限	18:20~19:20
2時限	19:50~20:50